

App Bridge Unified Cloud Services

2022/01/26
◎株式会社 日立システムズ



© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved.

Contents

- 1. Unified Cloud Services
- 2. App Bridge Monitor
- 3. App Bridge Kicker
- 4. App Bridge Transporter
- 5. App Bridge Notification
- 6. 利用料



© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved.

1. Unified Cloud Services



Human * IT

クラウドの利便性と複雑化するIT運用

クラウド活用には多くの利便性がある
しかしクラウド活用はIT運用を複雑化し課題を発生させる



クラウド活用の利便性

- 俊敏性の確保
 - ・必要なときに必要なだけリソースを確保
 - ・豊富なインターネット帯域
 - ・ネットワーク構成要素もすぐに確保
ロードバランサ、NAT、DNS…etc
- 管理コストの削減
 - ・ハードウェア資産をなくし管理コスト削減
 - ・ハードウェア障害からの解放
 - ・従量課金によるコスト最適化
 - ・WebやAPIによる構成管理
- 開発、環境構築コストの低減
 - ・クラウドを前提とした開発（サーバレス）
 - ・容易な開発環境構築、運用
 - ・環境構築をソフトウェア化し品質確保
 - ・本番とテスト環境を一致させ品質担保



膨らみ複雑化するIT運用

- IT運用の増加
 - ・コスト最適化を目的にサーバ起動、停止
 - ・クラウド基盤の健全性監視
- マルチクラウド
 - ・複数クラウドに分散するシステムの運用



Human * IT

IT運用を支える3つのサービス

HITACHI
Inspire the Next

分散環境を一元管理するミドルウェアサービス
【監視】【タスク制御】【データ転送】【通報】

Monitor

- シームレスなサーバ監視
クラウド、オンプレに点在するサーバをシームレスに監視
- プラットフォーム監視
CloudWatchなどのクラウド監視サービスと連携した一元監視
- コマンド、電子メール連携
コマンド、電子メールなどで対象システムと柔軟に連携

Kicker

- シームレスなタスク起動
クラウド、オンプレに点在するサーバでタスクを実行
- ライブラリからのツール提供
クラウド運用に必要なツールをライブラリより提供
- 多様なスケジューリング
日や曜日指定に加え、企業カレンダーベースのタスク実行をサポート

Transporter

- シームレスなサーバ間転送
クラウド、オンプレに点在するサーバ間のファイル転送を実現
- ラージファイル対応
GB、TB級ファイルを高速に転送
Backup保管、DR、移行にも活用
- 安全、確実なファイル保管
ファイルを分割し個別キーで暗号世代数、保存期間の設定が可能

Notification

- 豊富な通知機能：電子メール、自動電話、WebHook連携を提供
- 柔軟な通知振分：日時、内容などから通知先を決定

Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved.

4

App Bridge 特長

HITACHI
Inspire the Next

全ての機能をApp BridgeセンタへのHTTPS通信のみで実現
ほとんどの環境でネットワークを変更することなく導入可能

システムA
AWS

システムB
Private

システムC
Azure

システムD
Other

日立システムズ
App Bridge
Unified Cloud Services

【App Bridgeの特長】

- ・マネージャサーバレス : 管理サーバ不要で即時利用可能
- ・One WayのHTTPS : 全ての機能をセンタへのHTTPS通信のみで実現
- ・従量課金 : 初期費なしの完全従量課金

Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved.

5

2. App Bridge Monitor



Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved.

6

6

App Bridge Monitorの概要

システム全体を見渡す安心感 決めたその日から監視をスタート

システムに散在するサーバーやサービスをインターネット経由で一元監視
異常を検知した場合には、素早く、かつ確実にお客様へ通知します
煩わしい構成変更・設定は不要で、最短1営業日で監視を開始できます

● ハイブリッドクラウドを一元監視

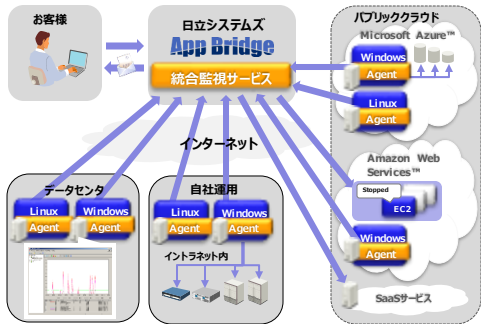
AWS・Azureからオンプレまで混在する環境をシームレスに一元監視できます。

● 電子メール・電話（音声）で通知

異常検知は、電子メールだけでなく電話（音声）で通知できます。通知先の複数登録や、エラー内容・発生時間により通知先を変えることも可能です。

● 容易な導入

管理サーバは不要で、初期費用なしで始められます。煩わしい設定も不要で、最短1営業日で開始できます。



Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved.

7

7

App Bridge Monitorの特長

HITACHI
Inspire the Next

クラウド環境に対応

プロキシサーバ環境、プライベートIP環境、DHCP環境
オートスケーリングにも対応



前提条件はHTTPS通信

監視対象から管理サーバへHTTPS通信できれば導入が可能です。そのため「プロキシサーバ環境」「プライベートIP環境」「DHCP環境」にも導入できます。

オートスケーリング自動追従

オートスケーリングのインスタンス増減を自動認識します。インスタンス増減に伴う設定変更は不要です。インスタンス毎にエラー・リソース状況を監視できます。

オートスケーリング自動追従の概念図



- ・インスタンス毎に監視可能
- ・インスタンス増減に自動追従(ユーザーの設定変更は不要)

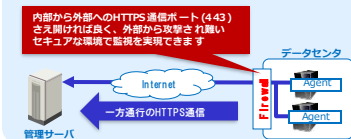


上記を実現する自社特許

弊社で独自に開発した「ワンウェイ方式」により、クラウド環境の監視を容易に実現しています。一方通行のHTTPS通信のため、外部から攻撃され難いセキュアな環境で監視を実現できます。以下の特許も取得しています。

・国際特許出願済(PCT/JP2012/055947)
・特許取得済(日本:特許5416156号, 米国:US8554829)

ワンウェイ方式 (Agentから管理サーバへのHTTPS通信のみで監視を実現)



Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved.

8

8

App Bridge Monitorの監視機能

HITACHI
Inspire the Next

監視機能一覧

監視項目	内容
Agent監視サービス	死活監視
	エージェントの稼働状況を監視
	イベントログ監視
	指定されたイベントログを監視
	テキストログ監視
	指定されたテキストログを監視
	サービス監視
	指定されたサービスのステータスを監視
	プロセス監視
	指定されたプロセスのプロセス数を監視
応答監視サービス	メモリ監視
	実メモリ、仮想メモリ使用量を監視
	CPU ビジー監視
	CPUビジー率を監視
	ディスクビジー監視
	ディスクビジー率を監視
	ディスクスペース監視
	ディスク使用率を監視
応答監視サービス	SQL Server容量監視 (※)
	SQL Server DB空き容量を監視
応答監視サービス	SQL Server応答監視 (※)
	SQL Serverのクエリー応答時間を監視
Ping、HTTP/HTTPS、TCPポート応答時間を監視	
グローバルIPアドレスを持たないデバイスはWindow Agentを起点に監視	
ユーザーメッセージ監視サービス	
利用者がコマンドで送信したメッセージをトリガーに通報	
電子メール連携	
受信した電子メールをトリガーに通報	
CloudWatch連携	
AWS CloudWatchのアラートをトリガーに通報	
API監視	
AWSのAPIを使用し、仮想サーバのステータスを監視	
カスタム監視	
パフォーマンスモニタ、ユーザ独自監視	

※ Azure SQL Database、Microsoft SQL Serverをサポート

Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved.

9

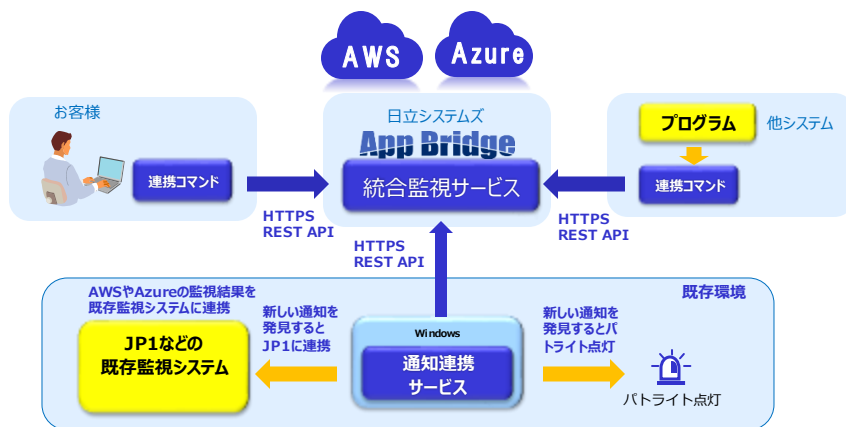
9

監視結果を他システムに連携

HITACHI
Inspire the Next

監視結果を他システムに連携する

連携コマンドを使用することで、監視状態を参照することができます。
通知連携サービスを利用することで、JP1などの既存監視システムと連携できます。
統計情報ダウンロードなど、利用頻度の高い機能はコマンドとして提供しています。



Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 10

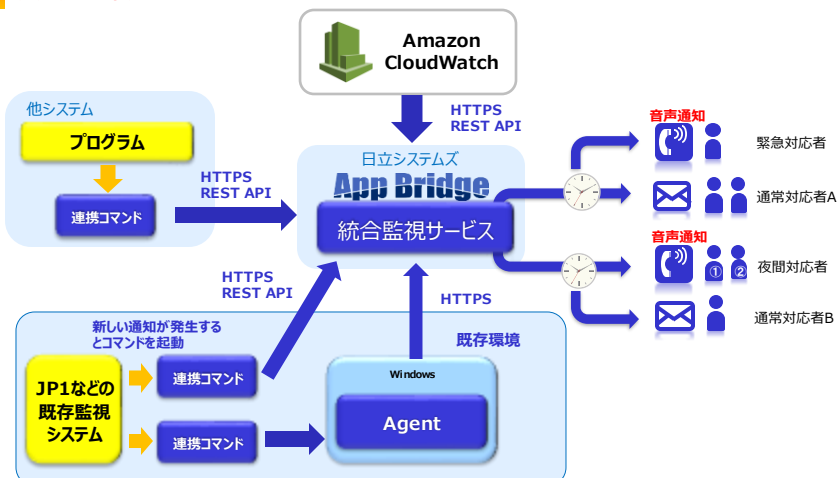
10

他システムからの連携を通知する

HITACHI
Inspire the Next

他システムから通知機能を利用する

既存監視システム、他システムから連携コマンドを使用することで、App Bridge Monitorの通知機能を利用できます。



Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 11

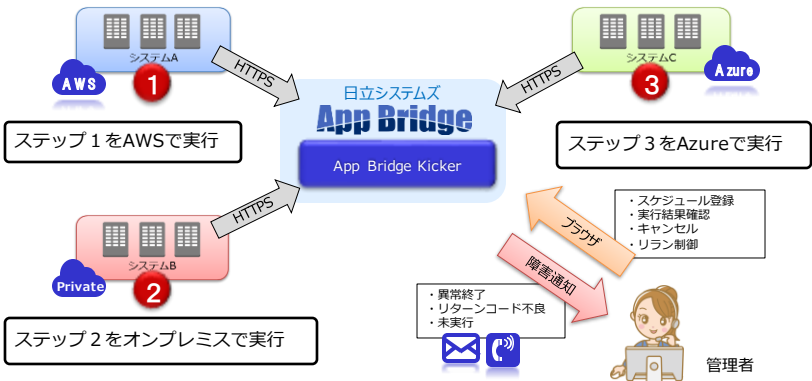
11

3. App Bridge Kicker



マルチクラウド環境のタスク制御サービス

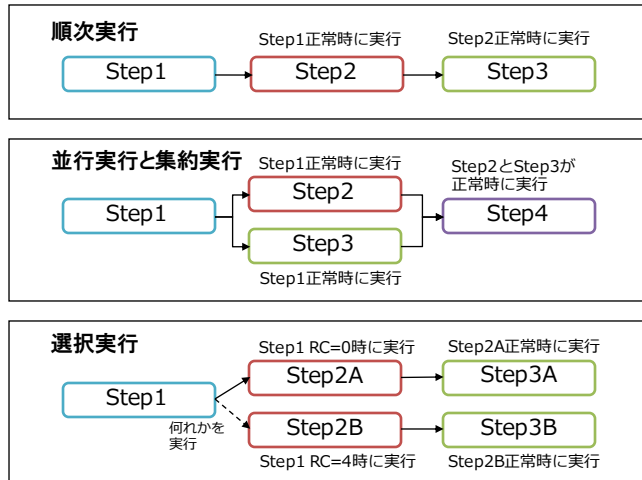
点在した環境での連続したステップを実行
使用するプロトコルは、App BridgeセンターへのHTTPSのみ
ブラウザによる結果確認、リラン制御が可能



タスクとステップ

HITACHI
Inspire the Next

App Bridge Kickerの実行単位は「タスク」
「タスク」内に複数の「ステップ」を作成し、実行します



Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 14

14

企業カレンダーベースのスケジュール制御

HITACHI
Inspire the Next

日次、週次、月次、年次のスケジュールが可能
複数カレンダーに対応

スケジュールタイプ	実行区分	休日動作	備考
日次実行	毎日実行	・実行しない ・実行する	
週次実行	指定の曜日に実行	・実行しない ・実行する ・前営業日に実行 ・翌営業日に実行	週番号の指定が可能（第3日曜に実行など）
月次実行	指定の暦日に実行（各月3日に実行など）	・実行しない ・実行する ・前営業日に実行 ・翌営業日に実行	月の指定が可能（12月3日に実行など）
営業日実行	指定の営業日に実行（各月第1営業日に実行など）	—	月の指定が可能（12月の第2営業日に実行など）



Human * IT

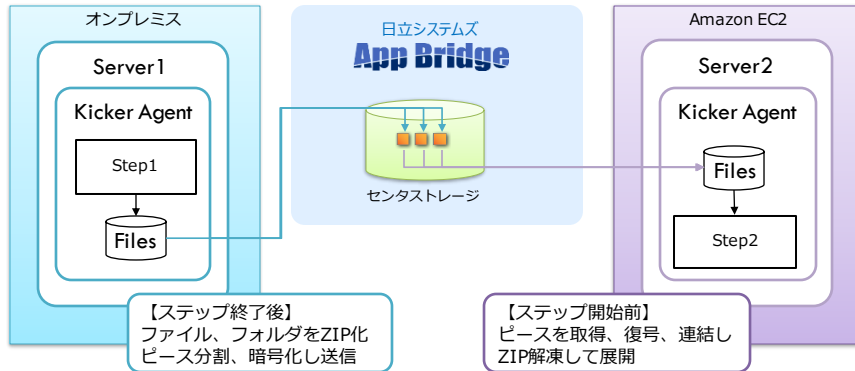
© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 15

15

ステップ間のデータ転送をサポート

HITACHI
Inspire the Next

App Bridgeセンタを経由したステップ間のデータ引継ぎを提供
安全で効率的な転送を実現



クラウド向け運用ツールを提供

HITACHI
Inspire the Next

マルチクラウド運用に必要なツールをパブリックライブラリより提供
一部のツールはサーバレス（センタAgent）で利用可能

AWS向け標準ツール

ツールID	提供機能	稼働場所
CIT_SERVER_START	Amazon EC2のサーバを起動	センタAgent、利用者サーバ
CIT_SERVER_STOP	Amazon EC2のサーバを停止	センタAgent、利用者サーバ
CIT_SERVER_BACKUP	Amazon EC2のサーババックアップを取得	センタAgent、利用者サーバ
CIT_VOLUME_BACKUP	Amazon EBSのボリュームバックアップを取得	センタAgent、利用者サーバ

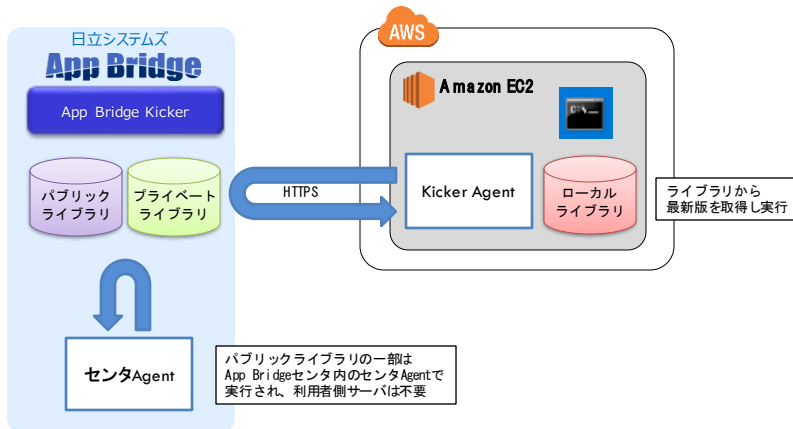
Windows向け標準ツール

ツールID	提供機能	稼働場所
CWT_DATA_IMPORT	ファイル、フォルダ転送（インポート）	利用者サーバ
CWT_DATA_EXPORT	ファイル、フォルダ転送（エクスポート）	利用者サーバ
CWT_SERVICE_START	Windowsサービスの開始	利用者サーバ
CWT_SERVICE_STOP	Windowsサービスの停止	利用者サーバ

最新の運用ツール一覧は [サポートサイト](#) をご参照下さい

プログラムのバージョン管理と配布

コマンド、プログラム起動に加え、ライブラリ機能を提供
利用者プログラムのバージョン管理、配布機能を提供
確実な運用機能を提供



App Bridgeセンタからの通報

App Bridgeセンタは、以下の通知を実施
通知先、通知方法は、App Bridge Monitorで変更可能

通知	内容	備考
Abort	ステップが異常終了したことを通知	
Waiting Timeout	予定時刻を過ぎてもステップが実行されないとき通報	タイムアウトの解消も通知されます
Running Timeout	予定時刻を過ぎてもステップが終了しないとき通報	タイムアウトの解消も通知されます
Parallel Control	同一タスク実行制御によりタスク実行が抑止(※1)されたとき通報	
Schedule Error	スケジューリングでエラーが発生したとき通報	
WebHook Error	App Bridge MonitorからのWebHookでエラーが発生したとき通報	

※1：同一タスク実行制御では、ポーズ、リトライ、キャンセルが選択できます。同時実行を許容することも可能です

シナリオ：テスト環境起動のタスク化

HITACHI
Inspire the Next

カレンダーを使ったテスト環境の自動起動
センタAgentを利用することで利用時間外の起動サーバ数ゼロを実現
テスト環境起動をテストに電子メールで連絡

ステップ	Webサーバ	DBサーバ	センタAgent
Step1			DBサーバ起動 C1T_Server_Start
Step2		起動待ち時間5分 DBサービス起動 CWT_Service_Start	
Step3			Webサーバ起動 C1T_Server_Start
Step4			起動待ち時間5分 電子メール送信 COT_Mail_Send

シナリオ：システム停止手順のタスク化

HITACHI
Inspire the Next

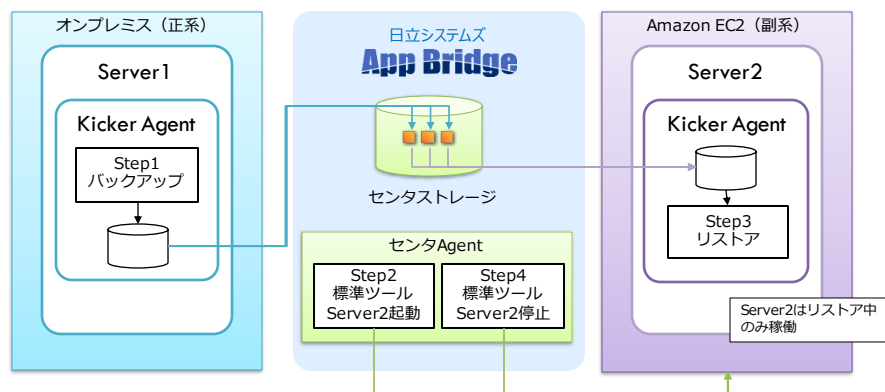
サービス停止を組合せた安全なサーバ停止プロセス
システム全体の停止を一括制御
システム停止を関係者に電子メールで連絡

ステップ	Webサーバ	DBサーバ	センタAgent
Step1	サービス停止 CWT_Service_Stop		
Step2			Webサーバ停止 C1T_Server_Stop
Step3		サービス停止 CWT_Service_Stop	
Step4			DBサーバ停止 C1T_Server_Stop
Step5			電子メール送信 COT_Mail_Send

シナリオ：DR日次データ連携のタスク化

HITACHI
Inspire the Next

バックアップからDR側へのリストアまでを一連処理として実施
有事におけるDR起動時間を最小化
パブリックライブラリの標準ツールと組合せ、コストを最適化



Human * IT

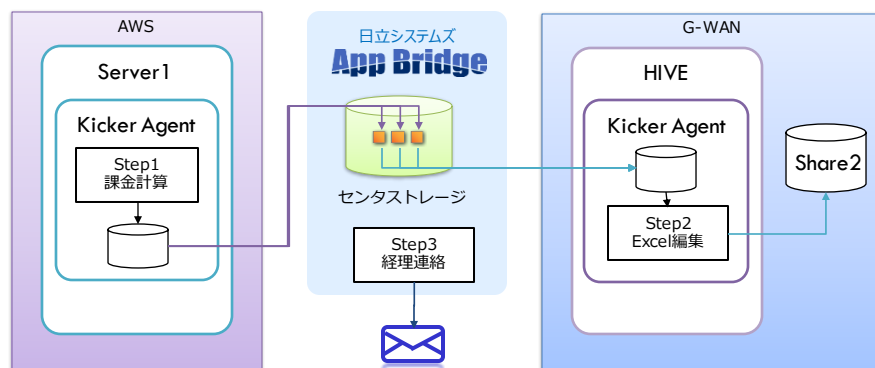
© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 22

22

シナリオ：運用業務のタスク化

HITACHI
Inspire the Next

異なるネットワークのサーバ間でタスク連携、データ連携を実施
有事におけるDR起動時間を最小化
パブリックライブラリの標準ツールと組合せ、コストを最適化

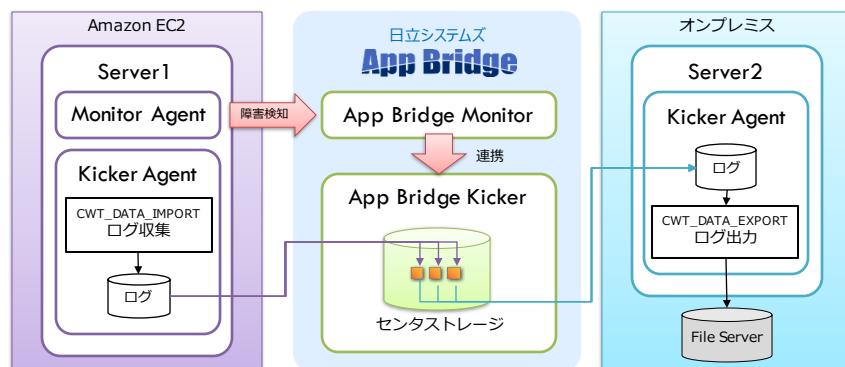


Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 23

23

App Bridge Monitorの障害通知をトリガーに起動
障害サーバのイベントログ、アプリケーションログを収集
収集したログを社内ファイルサーバに格納



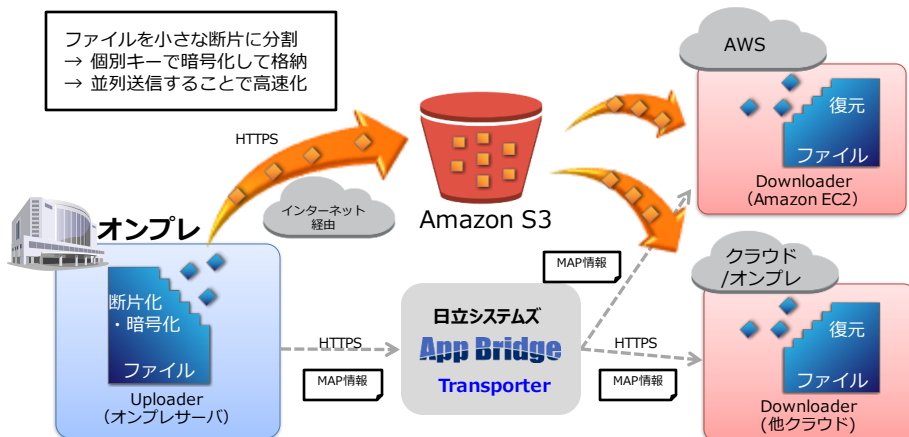
4. App Bridge Transporter

App Bridge Transporterの概要

HITACHI
Inspire the Next

クラウドストレージを使った新しいファイル転送サービス

- ・ 今まで難しかったGB～TBサイズのラージファイル転送を可能にします
- ・ インターネットを介してのファイル転送を安全・確実に実現します
- ・ センタへのHTTPS通信のみを使用するため、導入が容易です



Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 26

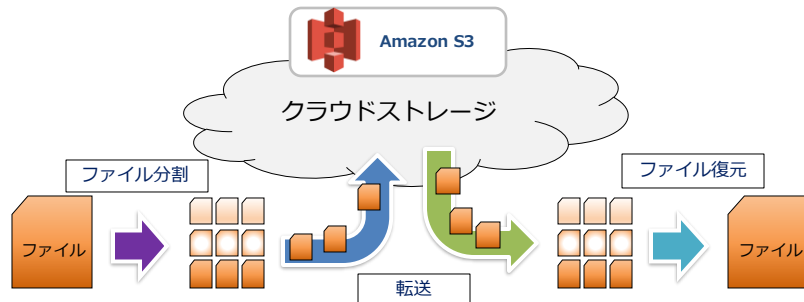
26

転送メカニズム

HITACHI
Inspire the Next

ファイルの分割と並行転送

- ・ ファイルを小さな断片（ピース）に分割し、クラウドストレージに並行転送します
- ・ 指定ネットワーク帯域に応じ、高速、または低速にファイルを確実に転送します
- ・ ピースを個別のキーで暗号化し、データ漏えいを防ぎます
- ・ ピースごとにハッシュ確認を実施し、データの完全性を保ちます



● ファイルアップロード例

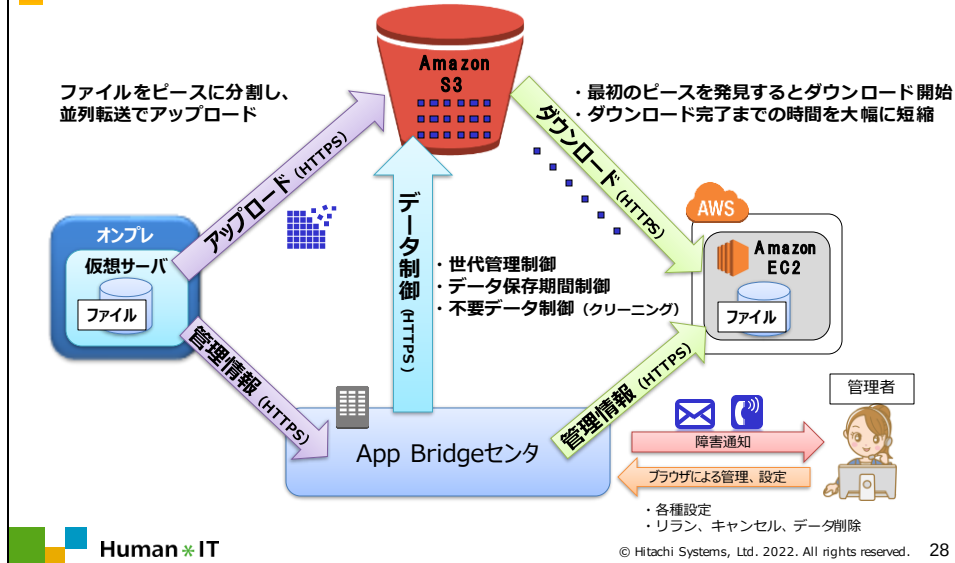
送信元	クラウドストレージ	ファイルサイズ	所用時間	転送/GB
A社様環境	Amazon S3	1GB	30秒	30秒
B社様環境	Amazon S3	20GB	14分	42秒

Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 27

27

ファイル転送に必要な管理機能を提供します



28

シナリオ：バックアップの遠隔保管とDR利用

バックアップファイルをクラウドストレージに保管

- ・ 数十～数百GBのバックアップファイルをクラウドストレージにアップロードします
- ・ アップロードしたバックアップファイルは、分割、暗号化され、世代管理されます
- ・ 有事の際に、高速にダウンロードし、活用できます



29

大容量ファイルを転送し、データ分析を実施

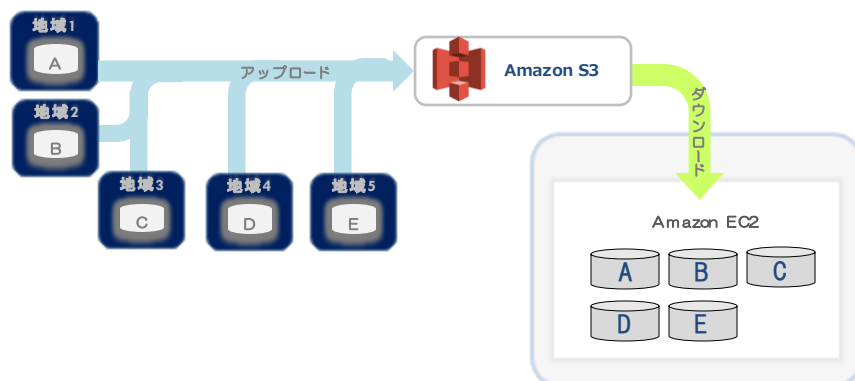
- ・ 大容量ファイルを小さな断片（ピース）に分割し、並行転送します
- ・ ネットワーク障害などで中断も、送信済みピースを活用し、途中再開します
- ・ 転送終了後、任意のプロセスが起動でき、システム連携が容易です



※1: アップロード途中からピースをダウンロードする機能

遠隔地からファイルを収集する

- ・ 遠隔地からインターネット経由でファイルを収集します
- ・ 使用帯域を限定することで、インターネット環境への影響を最小化します
- ・ 各地域のアップロード障害発生を確実に通知します



遠隔地へファイルを一齐配信する

- 遠隔地へインターネット経由でファイルを配信します
- 使用帯域を限定することで、インターネット環境への影響を最小化します
- 各地域のアップロード障害発生を確実に通知します

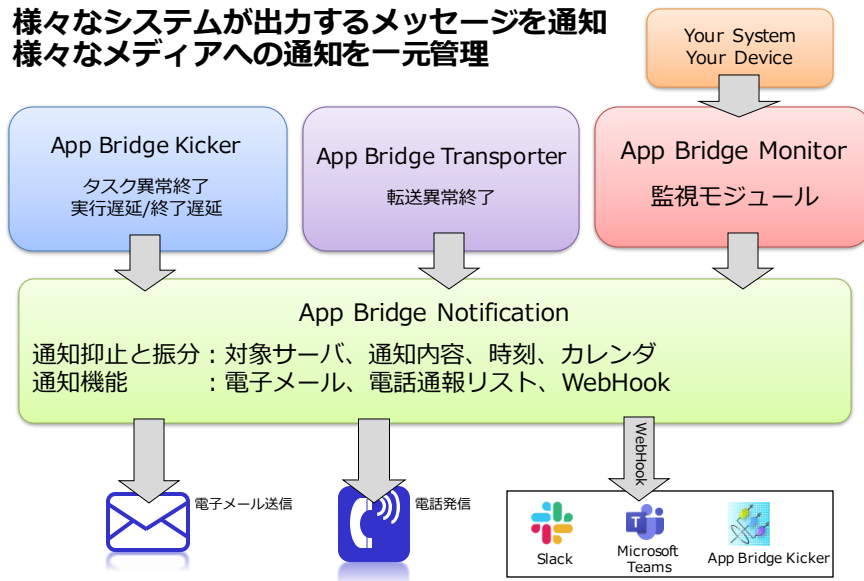


5. App Bridge Notification

App Bridge Notification

HITACHI
Inspire the Next

様々なシステムが出力するメッセージを通知
様々なメディアへの通知を一元管理



Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 34

34

App Bridge Notification 通知振分け

HITACHI
Inspire the Next

振分け機能

メッセージ・発生サーバ・発生日時によって、**通知方法**(メール/電話)や**通知先**を変更できます。

メッセージによる振分け

メッセージの**種別・内容**によって通知先・通知方法を変更できます。例ではメッセージ種別「Error」と「Warning」で異なる担当者へ異なる方法で通知しています。



時刻による振分け

発生日時によって通知先・通知方法を変更できます。例では「定時内」と「定時後」で異なる担当者へ異なる方法で通知しています。



サーバによる振分け

サーバ、タグによって通知先・通知方法を変更できます。例では「サーバ(A)」と「サーバ(B)」で異なる担当者へ異なる方法で通知しています。



カレンダーによる振分け

発生日によって通知先・通知方法を変更できます。例では「休日」と「営業日」で異なる担当者へ異なる方法で通知しています。



(*1): 正規表現による指定で、特定文字列を含むメッセージを振り分けることも可能です。

Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 35

35

App Bridge Notification 電子メール通知

電子メール通知

エラー発生時に**電子メール**でユーザに通知できます。
電子メールの通知先は**複数**登録できます。



電子メール通知先設定画面

The screenshot shows the 'App Bridge Monitor' application. At the top, there's a header with the title '電子メール通知先設定画面' (Email Notification Settings Screen) and a user profile 'User (ID: #010070)'. Below the header, there's a navigation bar with tabs: 'ホーム' (Home), 'メール設定' (Email Settings), '電子メール通知先登録' (Email Notification Registration), and '電子メール通知先評価' (Email Notification Evaluation). The '電子メール通知先登録' tab is selected.

The main content area is titled '初期登録された通知先です' (Initial registered notification destinations). It contains a table with columns: '電子メール通知先コード' (Email Notification Code), 'Default_Contract', '電子メール通知先名' (Email Notification Name), and '有効/無効' (Valid/Invalid). The table lists five entries, all with '有効' (Valid) status.

Below this table, there's a section titled '電子メール通知先 (ユーザ)' (Email Notification (User)). It contains a table with columns: 'ユーザID' (User ID), 'ユーザ名' (User Name), 'メールアドレス' (Email Address), '種別' (Type), '有効/無効' (Valid/Invalid), and 'ユーザID選択' (Select User ID). This table lists five entries, all with '有効' (Valid) status.

At the bottom, there's a section titled '電子メール通知先 (オプションメンバー)' (Email Notification (Option Member)). It contains a table with columns: 'メールアドレス' (Email Address), '種別' (Type), '有効/無効' (Valid/Invalid), and 'ユーザID選択' (Select User ID). This table lists five entries, all with '有効' (Valid) status.

A red box highlights the '電子メール通知先 (ユーザ)' table, and a blue arrow points to it from a text box that says '通知先は複数登録できます' (You can register multiple notification destinations).

Owner ID: 8410010

App Bridge Monitor

監視設定

Menu > モード一覧 > 電子メール通知一覧 > 電子メール通知詳細 > 電子メール通知設定 (ユーザ)

OK 実行 Cancel

ユーザID	admin
メールアドレス種別	To

ユーザCDを選択することで、
ユーザCDに紐づいたメールアドレスを追加できます

任意のメールアドレスを追加できます

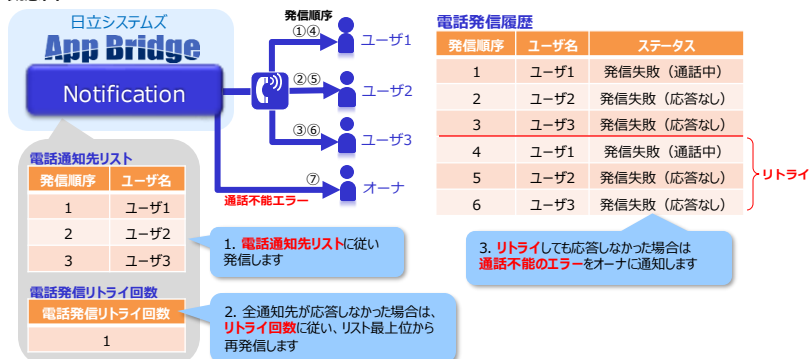
App Bridge Notification 電話通知

電話通知

エラー発生時に**電話(自動音声)**でユーザに通知できます。
電話通知先には担当者を**複数**登録でき、**発信順序**を決めることができます。
担当者が電話に応答するまで**電話通知先リスト**(発信順序)に従って発信します。



概念图



6. 利用料



Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 38

App Bridge Monitor費用

● Agent監視 利用料金

価格（サーバ監視時間数を単位とした従量制）

ご利用タイプ	タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4
リソース情報保有日数	10日間	40日間	100日間	400日間
ご利用単価（／時間）	1.25円	1.75円	2.50円	3.50円
ご参考価格（24時間×30日）	900円	1,260円	1,800円	2,520円

（消費税別）

● 応答監視 利用料金

価格（エンドポイント数を単位とした月額料金制）

ご利用タイプ	タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4
リソース情報保有日数	10日間	40日間	100日間	400日間
ご利用単価（／月）	700円	1,000円	1,400円	2,000円

（消費税別）



Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 39

App Bridge Monitor費用

HITACHI
Inspire the Next

● API監視 利用料金

価格（監視サーバ数を単位とした月額料金制）

対象	単価
API監視対象サーバ数	700円

(消費税別)

● ユーザメッセージ監視 利用料金

価格（通知連携されたメッセージ数を単位とした従量課金制）

対象	単価
コマンド、APIで生成されたデータ件数（※1）	0.5円/件数

(消費税別)

(※1):Amazon CloudWatch、電子メール受信の通知連携もユーザメッセージ監視として課金されます。

Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 40

40

App Bridge Kicker費用

HITACHI
Inspire the Next

● 利用量に応じてプランと課金区分を選択して下さい

月額費用	課金基準	プランA	プランB	プランC	プランD
プラン基本料	定額	0円	10,000円	50,000円	100,000円
利用者サーバ費用	ステップ実行した利用者サーバ数	500円/サーバ	サーバ20台まで0円 400円/超過サーバ	サーバ50台まで0円 250円/超過サーバ	サーバ100台まで0円 100円/超過サーバ
利用者サーバステップ費用(※1)	タスクの課金区分タイプ1	利用者サーバステップ実行回数	5円/回	500回まで0円 4円/超過回数	1,500回まで0円 2円/超過回数
	タスクの課金区分タイプ2(※4)	利用者サーバステップスケジュール回数	10円/回	8円/回	4円/回
センタAgentステップ費用(※2)	タスクの課金区分タイプ1	センタAgentステップ実行回数	10円/回	500回まで0円 8円/超過回数	1,500回まで0円 4円/超過回数
	タスクの課金区分タイプ2(※4)	センタAgentステップスケジュール回数	40円/回	30円/回	20円/回
パブリックモジュール費用(※3)	タスクの課金区分タイプ1	パブリックモジュールステップ実行回数	10円/回	500回まで0円 5円/超過回数	1,500回まで0円 2円/超過回数
	タスクの課金区分タイプ2(※4)	パブリックモジュールステップスケジュール回数	20円/回	10円/回	4円/回
データアップロード費用	データアップロードサイズ	30円/GB	50GBまで0円 25円/超過GB	250GBまで0円 20円/超過GB	500GBまで0円 10円/超過GB
データダウンロード費用	データダウンロードサイズ	60円/GB	50GBまで0円 50円/超過GB	250GBまで0円 40円/超過GB	500GBまで0円 30円/超過GB
モジュールダウンロード費用	モジュールダウンロードサイズ(※5)	60円/GB	10GBまで0円 50円/超過GB	50GBまで0円 40円/超過GB	100GBまで0円 30円/超過GB

(消費税別)

※1：利用者サーバ指定のステップを対象とします
※2：センタAgent指定のステップを対象とします
※3：パブリックモジュール指定のステップを対象とします
※4：日次スケジュール(または随時スケジュール)のステップスケジュール回数(タスクステップ数×スケジュール回数)を課金基準とします
1つのスケジュール定義に複数の実行時刻を指定した場合も1スケジュールとカウントされるため、繰返し実行するタスクのコストを低減できます
Webサイト、コマンドなどで、オンデマンド生成されたステップインスタンスは、タスク設定に関わらず、タイプ1として課金されます
※5：利用者サーバのモジュールダウンロードサイズを対象とします。モジュールはAgentにキャッシュされ、パージョングレードにダウンロードされます

Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 41

41

21

App Bridge Transporter費用

HITACHI
Inspire the Next

標準利用

当社のクラウドストレージを使用するファイル転送サービスを提供します。
費用は、アップロード回数、データ保管量、ダウンロード量に応じた従量課金となります。

項目	単位	単価	備考
ファイルアップロード料	回	1.0円	アップロード成功分のみ課金
ファイル保管料	GB/日	1.0円	アップロード成功分のみ課金
ファイルダウンロード料	MB/回	0.1円	ダウンロード成功分のみ課金

(消費税別)

拡張利用

お客様が契約したクラウドストレージを使用したファイル転送サービスを提供します。
費用は、サーバ数、データ転送回数、データ転送量を基準とした月額固定課金となります。

契約タイプ	月額費用	月ごとのアップロード制約			月ごとのダウンロード制約		
		サーバ数	回数	転送量	サーバ数	回数	転送量
ミニマム	5,000円	1台	50回	10GB	1台	200回	40GB
スモール	10,000円	10台	500回	100GB	10台	2,000回	400GB
ミディアム	25,000円	50台	2,500回	512GB	50台	10,000回	2,048GB
ラージ	50,000円	100台	5,000回	1,024GB	100台	20,000回	4,096GB

上記を越えるファイル転送を実施する場合、個別見積となります

(消費税別)

Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 42

App Bridge Notification費用

HITACHI
Inspire the Next

通知料金

価格（オーナごとの通知回数を単位とした従量制）

通知方法	単価
電子メール通知	0円/回
電話通知	100円/通知（※1）
WebHook連携	0円/回

(消費税別)

(*1):電話通知先が通知対象となった場合に料金が発生します。電話応答しなかった場合でも料金が発生します。

Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 43

App Bridge サポート費用

HITACHI
Inspire the Next

● サポート費用

価格（ご契約ごとの月額料金制）

ご契約名	サポート内容	サポート料金
標準サポート	連絡手段：電子メールのみ 対応時間：当社営業日 9:00～17:30 対応内容：App Bridgeに関する技術的な問合せ	0円/月
カスタムサポート	連絡手段：電子メール、電話などを個別に設定 対応時間：個別に設定 対応内容：個別に設定（監視設計、監視設定、通常、障害時運用にも対応）	50,000円/月～ サポート内容により個別見積

（消費税別）

● 請求手数料

価格（ご契約ごとの月額料金制）

お支払方法	請求手数料
クレジットカード決済	0円/月
請求書支払い	5,000円/月

（消費税別）

Human * IT

© Hitachi Systems, Ltd. 2022. All rights reserved. 44

◎ 株式会社 日立システムズ

HITACHI
Inspire the Next